

カラフル通信



数年前のことですが、家族で外食した際、子どもたちが騒いでいたので、妻が「静かにしないと店員さんに怒られるよ。」と注意したことがありました。それはちがうよ、と話した記憶があります。

公共の場やレストランなど、外出先で子供の言動に頭を悩ます親も多いだろうが、Twitterでは、あるユーザーの“「店員さんに怒られるよ」はやめて下さい”というツイートをきっかけに、「子供への注意の仕方」が議論となったことがありました。(参照 <https://togetter.com/li/826086>)

店員

『保護者様へお願いです。店内で暴れてるお子様への注意に「店員さんに怒られるよ」はやめて下さい。すでに注意しない保護者様へ対して怒っておりますし、その言葉がきっかけで人のせいにすんなよと怒りで満ち溢れますし、仮にお子様を怒った所であなただけを怒りますよね？保護者様が怒って下さい。』

以下は返信欄の一部です。

「じゃあ怒られなければ何してもいいの？てなりますよね」

「誰かに怒られるからやる（やらない）って考え方をする人間の作り方です」

「ありますね、こういう怒り方。人のせいにする無責任な言い方です。そもそも怒る、ではなく叱る、です。」

「なぜ、騒いではいけないのか、子どもにもきちんと伝えるべき。なぜ、注意されたのか、叱られたのか。そこがわからないと同じことを繰り返します。」

「すごいわかります。医療関係者ですが、注射されるよっていうのも止めていただきたいです…。」

(原文のまま掲載しています)

我が家でも、「野菜を残すとママが怒るよ」ではなく、「勉強しないとゲーム禁止・Youtube 禁止」と脅すのではなく、「どうしていけないのか」「どうするべきなのか」を保護責任者として伝えたり、考えさせたりしようと思います。特に長男は、「いつも自分ばかり怒られる。」と不満に思っている時期がありました(今もかも知れませんが)。そうすると思考停止してしまうんですよね。「怒られた」ことしか残らず、「何をどうすればいいのか」考えることができなくなり、ただ弟に文句を言い続け…。「躰」って難しいなあ。

私もいろいろ悩んでいます。試行錯誤の毎日です。保護者の皆様も、学校のこと、子育てのこと、何か不安なことや心配なことがありましたら一緒に考えていきましょう。いつでもご連絡お待ちしております。

下の写真は、なかよし班（1～6年生の縦割り班）で遊ぶ計画を立てる話合いの様子です。下級生のかわいい意見を笑顔で受け止める姿が微笑ましかったです。

